

令和2年10月号

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会
〒501-3246

関市緑ヶ丘2-5-78

TEL : 0120-337-301

FAX : 0575-24-5733

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

精神障害者の家族の3割 「差別を受けた」 医療機関の 受診拒否も



精神障害者の家族の3割が差別や偏見によって理不尽な思いをしたことが、このほど全国規模の調査で分かった。

精神障害者のいることを周囲にオープンにするために必要な社会整備としては、半数が

「義務教育課程で精神障害の理解を促す授業を増やす」を挙げた。

調査は全国精神保健福祉会連合会（岡田久実子理事長・みんなねっ）が2019年12月から今年1月にかけて会員に実施。

回答数は2382件であり回答者の約8割は障害者本人の親で、年齢は60～70代が7割を占めた。同連合会によると、差別をテーマとした全国調査は初めて。

調査結果について

国立精神・神経医療研究センターの山口創生氏は「精神障害者の家族が受けたスティグマ（烙印）をテーマとした論文は日本では少ない。これだけ規模の大きな調査は貴重だ。差別経験が3割だった点は私の予想より少ない」とみている。

差別の内容としては

「親族から冠婚葬祭に呼ばれなかった」「近隣住民から無視された」「医療機関で受診を拒まれた」といった記述があった。

調査報告書は同連合会ホームページに掲載されている。

調査は障害者差別解消法の改正に反映させることが狙い。内閣府の障害者政策委員会が6月にまとめた意見書は、障害者の家族が受けた差別も同法の対象とする方向性を打ち出した。